

ほたる坂の倒木及び落石について

正和会
串田 金八 議員



▲ほたる坂の落石の様子

質問 一日も早く生活道路として利用できるように願いたい。改良工事の工期、工法と周知について伺う。

市長 ご不便等お掛けしているが、補正予算が議決されれば業者決定後速やかにコンクリート打設による補強工事に着手し、平成31年3月末の完了を目指す。現場の工事看板や近

隣住民へのビラ配布で周知する。

多摩川の河川氾濫について

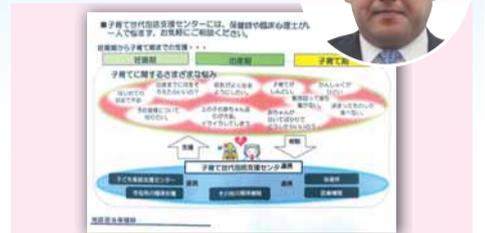
質問 西日本豪雨から本市が学ぶことは何か。また、平成19年9月の豪雨被害後の氾濫や浸水対策を伺う。

市長 現時点での検証結果から、ハザードマップの周知や市職員、消

防団の巡回広報による避難情報の周知、河川の水位の監視と迅速な状況把握を行う。平成19年の台風9号被害対策の低水護岸工事は、本市域の整備はほぼ終了した。本市地域防災計画に調布橋付近の水位で避難勧告の発令等を行うタイムラインを追加予定となっている。

子育て世代包括支援センターの現状と課題について

正和会
幡垣 正生 議員



▲子育て世代包括支援センターのリーフレット

質問 安心して子育てできる環境の充実を図るための取り組みと、今後の方向性及び課題について伺う。

市長 母子健康手帳交付時の保健師による妊婦全員の面接と支援プラン作成、臨床心理士等による市内保育施設等への巡回相談のほか、電話相談や来所相談対応を実施。統一指

針に基づく支援プラン作成で支援の必要性が明確になり、進行管理とプランの見直しで支援状況を確認できる。より有効活用されるよう周知し、より安心して子育てできるよう情報共有と継続支援を行う。産後ケアは平成31年度開始に向け準備している。

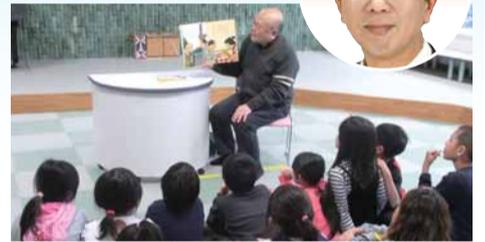
地域猫制度の今後の取り組みについて

質問 本制度をさらに推進するための取り組みについて伺う。

市長 モデル地区指定が充足しておらず、行政とボランティア団体が協働で地域猫制度を説明する予定。今後も広報等で市民に周知する。

コミュニティ・スクール委員会等の進め方について

正和会
武藤 政義 議員



▲コミュニティ・スクールの様子

質問 コミュニティ・スクールの学校運営協議会、準備委員会の具体的な会議の進め方について伺う。

教育長 会議の1つ目の役割は、校長の学校運営の方針を承認すること。2つ目は学校運営について校長や市教育委員会に意見すること。3つ目は教職員の任用に関して市教育

委員会に意見すること。以上が主な内容であり、これらの話し合いを進めている。

本市における不登校の状況について

質問 本市における不登校の状況について、推移も併せて伺う。

教育長 平成25年度の中学校の不

登校の出現率は、国や都が3%以下の時に本市は6%台であったが、平成26年度に不登校総合対策を策定し、都の事業の指定を受けるなどしてから、出現率が下降に転じている。多少の増減はあるが減少傾向となっており、平成29年度、中学校の不登校の出現率は4.53%であった。

福生七夕まつりの安全・安心対策及びごみ対策について

正和会
佐藤 弘治 議員



▲今年の七夕まつり

質問 熱中症やゲリラ豪雨等の安全・安心対策やごみ対策について、基本的な考え方と取り組みを伺う。

市長 救護所やミストつき扇風機の設置、水撒き等を実施。民踊パレードは小学生以下は短縮コース参加を依頼し、途中で中止の可能性も伝えた。救護室利用者は12名で熱中症

の疑いは6名。期間中6名が救急搬送された。ゲリラ雷雨発生時には直ちに民踊パレードを中止し来場者の安全を確保。ごみ箱を設置したほか、会場内や主要道路でごみを回収した。

まちづくりにおける緑と水の理念の活かし方について

質問 新しいまちづくりや公共施

設にどのように活かすのか伺う。

市長 道路緑化や街路樹育成、街角の小さなふれあい空間形成等の施策を進めつつ、市民、事業者への啓発や指導の充実、緑化推進に努める。公共施設やその敷地内の緑化と適切な維持管理で市民に身近な緑を確保していきたい。

介護者（ケアラー）支援の推進について

生活者ネットワーク
三原 智子 議員



▲おれんじ・パークの看板

質問 ケアをする側の人（ケアラー）への支援は重要だ。所見を伺う。

市長 大きな課題であり、家族等の介護は多くの人々が遭遇する問題と認識している。ニッポン一億総活躍プランでも介護離職ゼロを目標の一つに掲げた。介護する側もされる側も人生に希望を持てるよう、「住み

慣れた地域で、安心して、心豊かに生活するために」の実現へ着実に取り組む。

家族介護者の支援について

質問 家族介護者への支援の取り組みについて伺う。

市長 情報交換や交流を図る機会

として福生市障害者等日中一時支援事業や家族介護教室を実施。認知症高齢者の介護者には「おれんじ・パーク」を月1回、「オレンジカフェふっさ」を偶数月に1回実施。認知症講演会も予定。家族介護者の相談支援は、地域包括支援センターと在宅介護支援センターで常時対応する。

公共空間の在り方について

公明党
青木 健 議員



▲七夕まつりのイベント会場として活用されている丘の広場

質問 本市における公共空間の在り方や活用について考えを伺う。

市長 公共施設には設置目的があり、市民会館などの公の施設は設置目的に合った使用を前提としている。庁舎のような公の施設ではない公共施設も公正、適正な管理に努めている。公共施設や公共空間は公益性や

公平性が使用の前提であり、一定のルールをもとに使用を許可することとなる。施設の性質や設置目的を逸脱しないことが公共施設の使用の基本的なスタンス、あり方である。

市役所庁舎、公有地等の活用について

質問 にぎわいの創出、地域の活

性化における市役所庁舎、公有地等の活用について所見を伺う。

市長 新たな視点で有効活用を考えることは、まちのにぎわい創出や魅力の向上という効果も期待される。施設の設置目的を逸脱しないことを前提に判断し、適正な管理に努める。